

**特別養護老人ホーム**

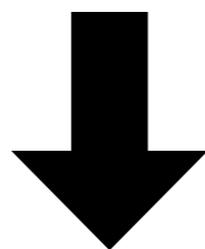
**矢筈荘**



A person wearing a light blue button-down shirt is seated at a wooden table. A white plastic bag is placed on the table in front of them. The background shows a bright, indoor setting with large windows and a wooden wall.

**介護福祉士だからできること！**

**城北高校 医療福祉科3年 米岡 夏鈴**

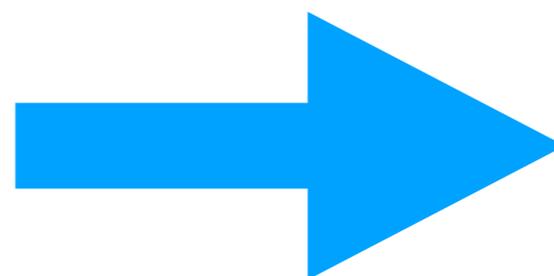


介護福祉士



# <介護過程の展開>

利用者にとって最も近い存在



★介護福祉士★

利用者に対し、様々な角度から支援ができる  
利用者の身体的・心理的・社会的支援が展開できる



**心身の状況に応じた介護**を行う

## 心身機能・身体構造

- ・身長150cm・体重56kg
- ・長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R) 合計得点20点
- 認知症の症状はみられない
- ・意思疎通ができ、コミュニケーションがとれる
- ・補聴器や眼鏡の使用はしておらず、今のところ視覚・聴覚に異常はなし
- ・左片麻痺の影響により、左短下肢装具、三角巾を装着
- ・糖尿病を患われているため、食事やおやつは糖尿病食

## 環境因子

- ・介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）に入所
- ・左麻痺のため、移動時、普段から車椅子を使用
- ・左麻痺の影響により、左短下肢装具を装着
- ・昔も今も家族との仲は良好だが、コロナの影響により、家族との面会が少ない

## 健康状態

- ・右被殻出血により、左麻痺
- ・寝たきり度判定基準：寝たきりB2
- ・糖尿病 ・喘息
- ・皮膚掻痒感あり

## 活動

- ・食事：介助食器や滑り止めマットを使用し、可能。
- ・排泄：昼間はトイレまで車椅子を自走にて移動可能。便座移乗は介助。夜間のみおむつを使用。
- ・入浴：全介助で、健側でできる部分は協力する様子がみられる。
- ・衣服の着脱：上衣は協力動作がみられるため、一部介助（右腕を通す・脱ぐ）。下衣は全介助。
- ・移動：左片麻痺の程度が重く、車椅子を使用。左短下肢装具も装着。健側にて、車椅子を自走し、直進はゆっくりであれば可能。カーブでの自走は難しく、一部介助。
- ・移乗：一部介助。
- ・整容：髭剃り、整髪、顔拭きは可能だが、チェックは職員の方がされる。歯磨きは一部介助。

## 個人因子

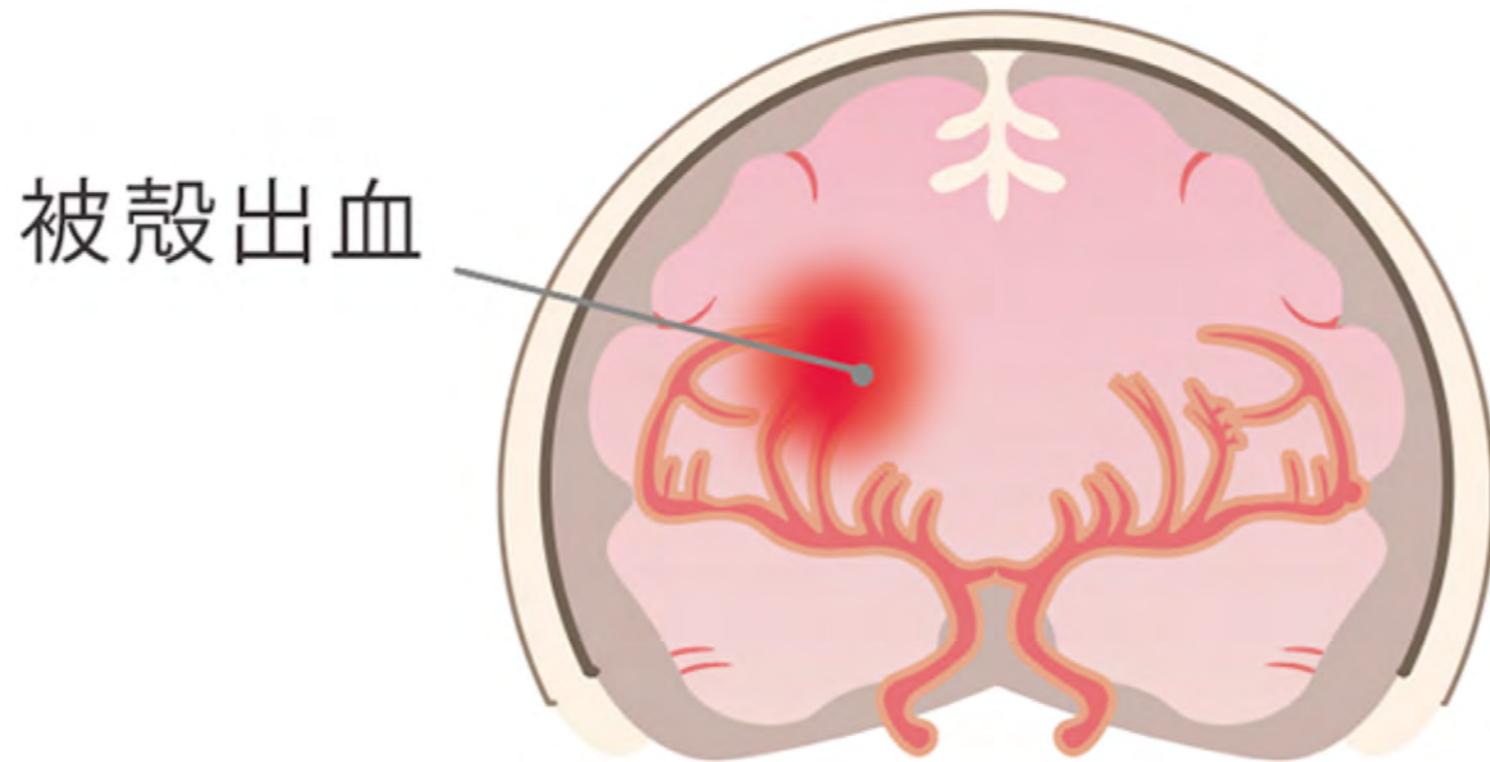
- ・年齢：83歳 ・性別：男性 ・要介護4
- ・寝たきり度判定基準：寝たきりB2
- ・明るく大らかでやさしい
- ・長年、農家をされていて誇りに思っておられる
- 野菜や果物などに詳しく、農業の話になると沢山話される
- ・学生時代は、野球をやられていた
- 60歳から地元の野球チームでまた野球をやられていた
- ・甘い食べ物が好きで好き嫌いはほぼない
- ・入居者のことを気遣ったり、声をかけたりする
- ・日中はホールで過ごすことが多く、入居者や職員との交流が盛んである

## 参加

- ・日中はホールで過ごすことが多く、入居者や職員との交流が盛んである
- ・レクリエーションに積極的に参加される
- ・タオル、エプロンたたみなどを入居者の方と一緒に行為される

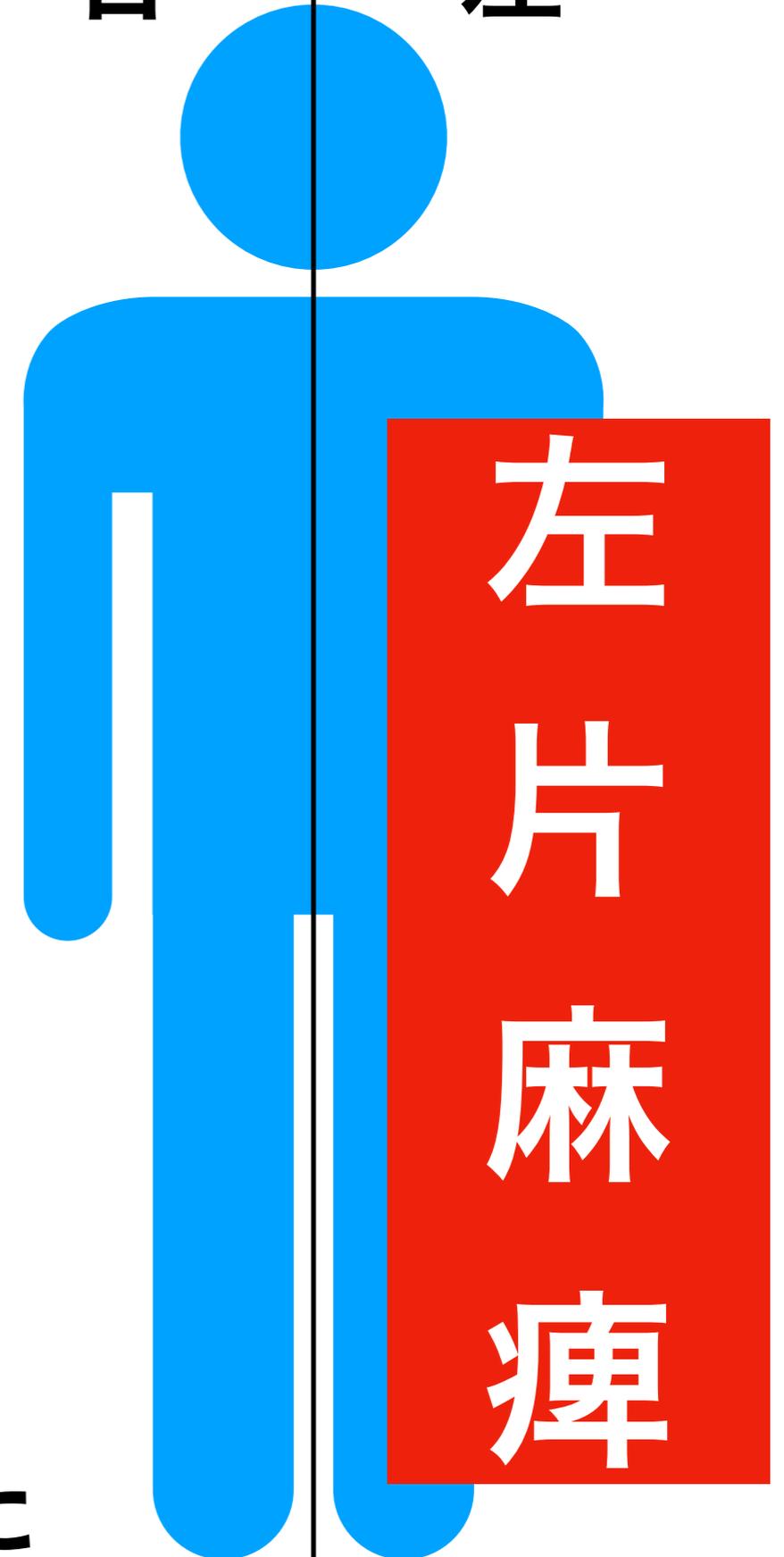
# 右被殻出血とは？

代表的な脳出血で  
脳出血の約4割を占める！



右脳の血管が破れ出血が起きた

右 左



右被殻出血→左片麻痺  
(車椅子を使用、  
左短下肢装具、三角巾を装着)



- ・動かしにくく、鈍い
- ・立位が不安定である

食事：自立  
その他のADL：一部介助



自立支援を尊重できる  
介助を心がけている

83歳

男性

要介護4

寝たきり度判定基準：寝たきりB2



- ・右上下肢の筋力低下
- ・廃用症候群になる可能性もあり



# 生活課題

## ●自立の視点

生活の営みのなかで利用者がもてる力を発揮できているか

→**健側を活用した動作を安定する必要がある**

## ●快適の視点

これまでの生活スタイルや価値観が維持されているのか

→**Mさんの楽しみや生きがいを尊重していく必要がある**

## ●安全の視点

二次的に悪化を招きそうな有無はどうか

→**安全・安楽に日常生活動作を行う必要がある**

# 長期目標

右上下肢安定の維持を図りながら、  
出来ること・好きなことは  
続けていけるようにする

# 短期目標

- 右上下肢を活用した生活動作ができる
- 役割をもち、楽しく生活できる
- 家族との交流の機会をつくる

# 支援方法

- ・ 右上下肢による安定した生活動作ができる

## ①排泄（移乗を含む）

- ・ 便座移乗の介助（必要に応じて補助食器を使用）
- ・ 排泄時の介助

# 生活リハビリ

## ③入浴

- ・ 立位での入浴（必要に応じて一部介助）
- ・ できる範囲での入浴

## ⑤移動

- ・ 自走の見守り（一部介助）
- ・ 歩行の介助（必要に応じて歩行補助具を整えてもらう）

## ・ 役割を持ち、楽しく生活できる

① タオル、エプロンたたみへの声かけ

② 行事、レクリエーションの参加の声かけ

## ・ 家族との交流の機会をつくる

① ご家族との面会

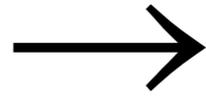
② 面会への声かけ

# 評価・修正

## ●1日目

### ・食事

麻痺のない右手でしっかり食事をとれていた（完食）

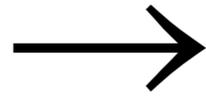


## ●1週間後

変化なし

### ・口腔、嚥下体操

積極的に取り組まれていた

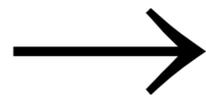


効果なし

「あまり変わらない」

### ・移乗

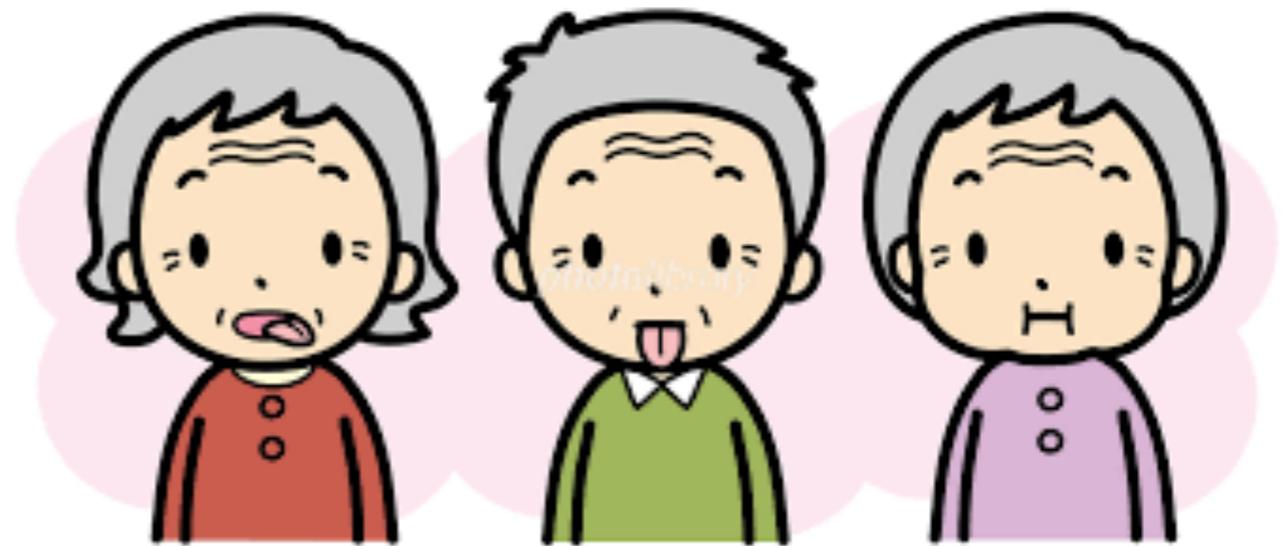
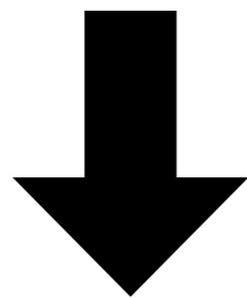
安全に立位ができ、移乗できていた



変化なし

# 口腔・嚥下体操の効果

- 食事や表情、発音の改善につながる
- むせや食べこぼしが減る

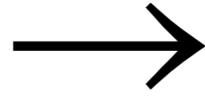


**継続してほしい！**

## ●1日目

### ・移動時

健側である右足で地面を蹴って、自走されていた



## ●1週間後

変化なし

しっかり前に進めている

### ・入浴（着脱も含む）

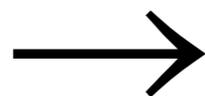
健側である右手を使い、「**自分でできる**」と言われた



できることはご自分でされる  
介助時に**協力動作**がみられる

### ・排泄（移乗も含む）

移乗時不安定であった  
立位は安定されていた

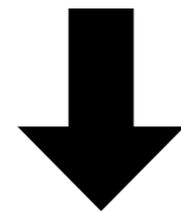


安定or不安定

どうしたら、スムーズに移乗ができるだろうか  
どうしたら、安定するだろうか



**職員の方に聞いたところ！！！！**



**Mさんのペースに合わせて  
ゆっくり介助していく**

# 利用者Mさんのイメージ



不安定

- 左足が床についていない  
→ 浮いている
- 両足が肩幅に開いていない



- 患側である左足を引く
- 肩幅に開く
- 足底がついているか確認する

**立位を安定させる！**

# 改善後

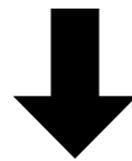


安定

- 左足が床についている
- 両足が肩幅に開いている

# タオルたたみ

役に立ちたい・施設内での役割



生きがい

達成感

意欲向上!!!

たくさん畳まれていた！

タオルを畳んでいるときの様子！

# ミュージックフープ



# レクリエーション

## 風船バレーゲーム🎈とミュージックフープ

腕が上がる



上半身の運動につながる



リハビリ効果にもなる



みんなでボールをつなぐので  
楽しめる！



意欲向上



入居者同士の会話もあり、  
笑顔がみられた



難易度UP

みんなで風船を落とさずにゲームしてみる

## 面会

面会への声かけ



明るい表情



笑顔や涙がみられる



家族との時間を大切にされている



●施設での生活が充実できるよう・・・

家族との交流の機会を増やす！

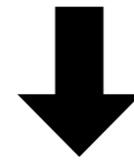
楽しみや生きがいをみつけていく必要がある！！

# 課題

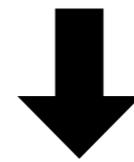
## ●利用者の課題

日常生活動作やレクリエーションなど、積極的にやられている。

様々な活動に意欲が感じられる



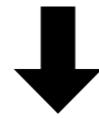
健側である右上下肢が**不安定**であることが多い



**潜在能力**を活かした動きや介助が必要になってくる

## ●支援者の課題

**潜在能力**を奪わない



日常生活動作（ADL）の状況把握



自立支援を促す声かけ

潜在能力を活かした支援をすることで・・・

- ・喜びや自信につながる
- ・楽しみが増える
- ・モチベーションが上がる

+

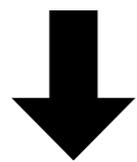
身体機能も維持！

# 潜在能力を活かした支援も重要！

「出来ないこと」より「出来ること」に  
注目した支援が必要



右上下肢の安定



生活リハビリテーションの継続

右半身の筋力を維持した  
リハビリが必要！！

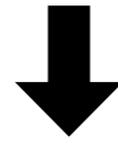
例えば・・・

- ・風船バレーボール
- ・玉入れゲーム

楽しみながらできる、ゲーム形式のレクリエーション

→筋力維持につながる

# Mさんは社交的な性格である



行事やレクリエーションに参加される機会をつくる

楽しみができる！

笑顔が増える！

生活を充実させる！

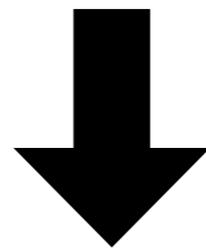
レクリエーションの効果！

- 身体機能や脳機能の活性化
- コミュニケーションの促進
- 生活の質（QOL）の向上

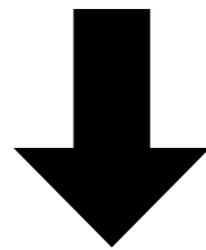




利用者様の変化に  
いち早く気づく



専門職に報告



多職種につなげる！！





**介護福祉士だからできること！**

**ご清聴**

**ありがとうございました**

**※発表に際し写真や動画は利用者様及び  
ご家族・施設長様に承諾を得たものである**